

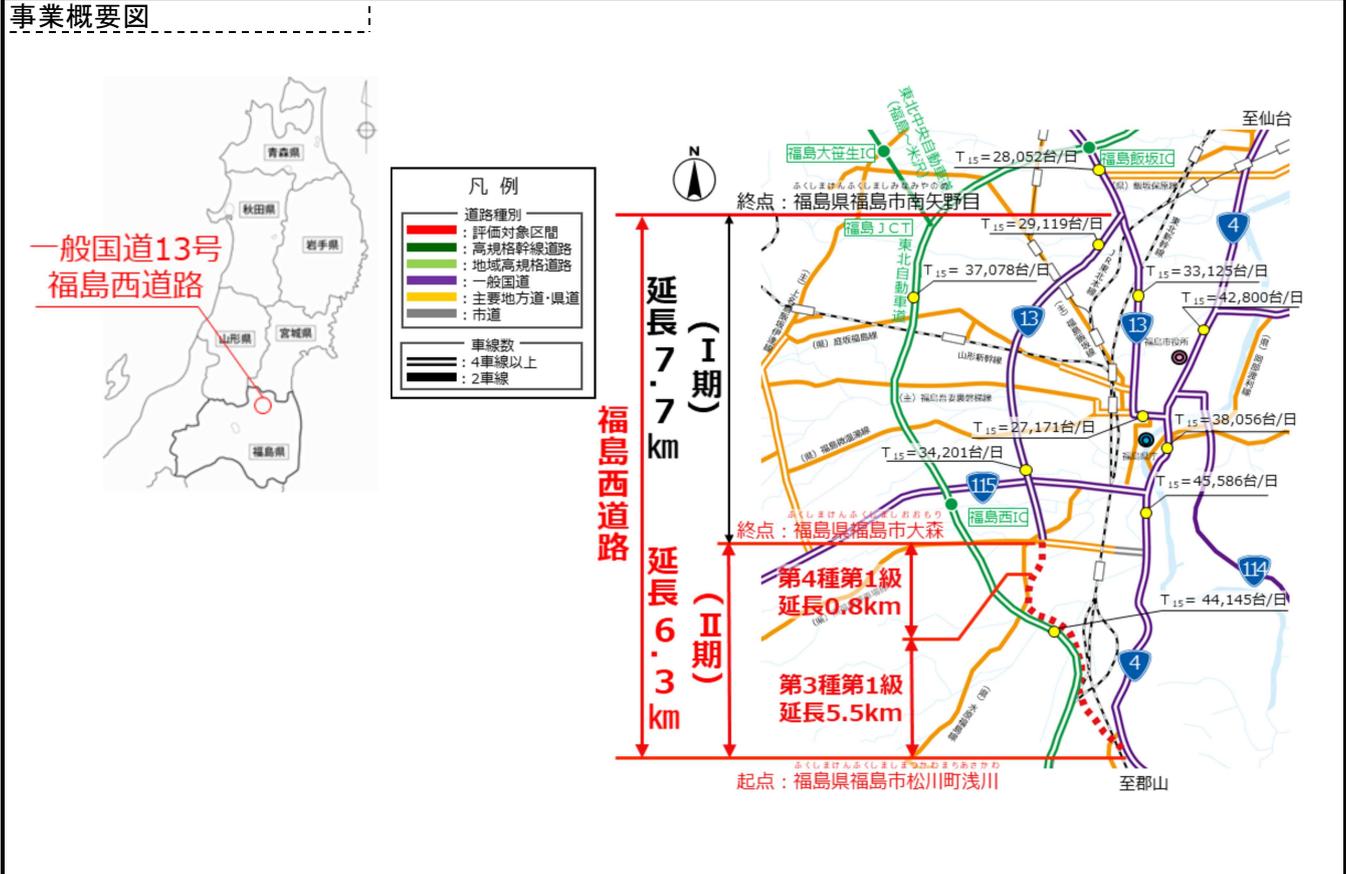
再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名 一般国道13号 <small>ふくしまにし</small> 福島西道路（Ⅱ期）	事業 区分	一般国道	事業 主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点 自： <small>ふくしま まつかわまちあさかわ</small> 福島県福島市松川町浅川 至： <small>ふくしま おおもり</small> 福島県福島市大森			延長	6.3 km
事業概要 一般国道13号は、福島県福島市から秋田県秋田市に至る延長約386kmの主要な幹線道路である。 福島西道路（Ⅱ期）は、福島市街地の環状道路の一部を形成する福島市松川町浅川から同市大森に至る延長6.3kmの4車線道路である。				
H24年度事業化		H23年度都市計画決定		H26年度用地着手
全体事業費		343億円		事業進捗率 約38% <small>（令和3年3月末時点）</small>
計画交通量		25,500台/日		
費用対効果 分析結果	B/C： （事業全体） 1.6 （残事業） 2.6	総費用： <small>（残事業）/（事業全体）</small> 216億円/342億円 〔 事業費：180億円/305億円 維持管理費 36億円/36億円 〕	総便益： <small>（残事業）/（事業全体）</small> 561億円/561億円 〔 走行時間短縮便益：491億円/491億円 走行経費減少便益 44億円/44億円 交通事故減少便益：26億円/26億円 〕	基準年： 令和3年
感度分析の結果 【事業全体】 交通量：B/C=1.5~1.8（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.6~1.7（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.6~1.7（事業期間 ±1年） 【残事業】 B/C=2.3~2.9（交通量 ±10%） B/C=2.4~2.8（事業費 ±10%） B/C=2.5~2.7（事業期間 ±1年）				
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・並行区間等の年間渋滞損失時間の削減 （渋滞損失時間：71.3万人・時間/年、渋滞損失削減率：3割削減） ②安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上 （福島市西部（テレビュー福島前）～県立医大病院 現況：26分⇒将来：21分） ③災害への備え ・東北縦貫自動車道（二本松IC～福島西IC）が通行止めとなった場合の代替路としての機能を強化 他8項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見 ○福島県知事の意見 国の対応方針（原案）案については、異議ありません。 なお、本県の復興・創生を支援するため、コスト縮減を図りながら、早期完成に努めてください。 ○以下の団体等から、福島西道路（Ⅱ期）の整備促進について要望あり ・福島県（福島県知事） ・福島市（福島市長） ・福島県道路整備促進協議会（相馬市長）				
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）の事業継続は妥当である。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成24年度新規事業化、用地進捗率約74%、事業進捗率約38%（令和3年3月末時点）				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない。				
施設の構造や工法の変更等 ・防草対策の見直しによるコスト縮減を図っている。				

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由
 交通混雑の緩和、交通事故の減少、安定的な運行の確保、救急医療活動の支援、物流効率化・産業活性化の支援等のため、早期整備の必要性が高い。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。